

第48回労働政策審議会雇用環境・均等分科会

日時 令和4年5月31日(火)  
11:00～

場所 厚生労働省職業安定局第1会議室(12階)  
及びオンライン

○奥宮雇用環境・均等分科会長 おはようございます。ただいまから「第 48 回労働政策審議会雇用環境・均等分科会」を開催いたします。本日は川田委員、小畑委員、藤村委員、大下委員から欠席の御連絡を頂いております。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン会議での開催とさせていただきます。

はじめに、新任の委員を御紹介させていただきます。3 月の分科会開催後に委員の交代があり、新たに雇用環境・均等分科会委員とされている方がおられますので、御紹介いたします。

全国中小企業団体中央会労働政策部長の大谷武士委員です。

○大谷委員 全国中央会の大谷と申します。よろしく願いいたします。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 また、日本商工会議所産業政策第二部長の大下英和委員が新たに委員になられておりますが、本日は欠席でございます。

次に、事務局からオンライン参加における操作方法等について説明をいたします。

○飯田雇用環境・均等企画官 事務局からオンライン参加における操作方法等について説明いたします。本日の分科会においてはハウリング防止のため、御発言される時以外は常にマイクをオフにさせていただきますようお願いいたします。御発言がある場合にはチャット機能でお知らせいただき、分科会長又は事務局から指名されましたら、マイクをオンにいただいた上でお名前をおっしゃっていただき、御発言をお願いいたします。また、御発言が終わりましたら、マイクをオフにさせていただきますようお願いいたします。分科会進行中、通信トラブルや音声聞こえなくなってしまうなど不具合がありましたら、チャット機能で事務局のみを宛先として個別に御連絡いただくか、あるいは事前に共有させていただいている電話番号まで御連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。以上です。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 それでは議題に入りたいと思います。本日の議題は、「小学校休業等対応助成金の助成内容(案)について」です。資料について、事務局より説明をお願いいたします。

○古瀬雇用環境・均等局職業生活両立課長 職業生活両立課です。お手元の資料の「小学校休業等対応助成金の改正内容(案)」について御説明をさせていただきます。こちらの資料の上半分の現行制度概要の所については、今回、特段変更するものではありませんので、下の改正内容の所を御覧いただければと思います。

現在、令和 4 年 6 月末までの休暇を対象として本助成金を支給することとしておりますけれども、感染の状況、また学校休業等の状況を踏まえつつ令和 4 年 7 月以降についても、引き続きこの助成金の日額上限について、原則的な措置が 9,000 円、特例は 1 万 5,000 円とする取扱いを 9 月末まで延長することとしたいと考えております。以上です。よろしく願いいたします。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 ただいまの事務局の説明について、皆様から御意見や御質問がありましたらお願いいたします。なお、発言希望がある場合はチャット欄に記入を

お願いいたします。いかがでしょうか。井上委員、よろしく申し上げます。

○井上委員 井上です。ありがとうございます。意見、要望、質問です。まず意見として、このオミクロン株の子供への感染で、10代以下の感染者数が過去最多を記録しています。年齢別に見ると、20代は最も多いということではありますが、10歳未満、10代の順となっていて、小学校等の休業の影響を受けている保護者はいまだ多いという実態であります。実際に保育園では、例えば家庭保育の延長の要請であったり、それから育休復帰をする予定であるのだけれども、感染予防のためにということで家庭保育を要請されて、職場の復帰期限も延期を要請されたりなどという実態があります。子供のワクチン接種率はまだ低いので、いつ子供が感染するか分からないという中での保護者の心中は計り知れないものではないかと思えます。

その意味では、この制度利用について更に厚生労働省として積極的な働き掛け、呼び掛けを行っていただきたいと思えます。今日の毎日新聞にも、コロナ休業補償、働く親が受け取れぬ訳というのが出ていましたけれども、実態としては、まだそういう状況があるのだと思っています。

質問なのですけれども、厚生労働省のWebサイトには、この助成金や支援金それぞれの申請件数や決定件数が掲載されているのですけれども、実際、現在の申請件数の特徴や、あるいは手続面での特徴的な面、少しそういう現状、実態について事務局から教えていただければと思います。以上です。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 本日は皆様の御意見、御質問をお聞きした上で、まとめて事務局から御説明いたします。布山委員、お願いいたします。

○布山委員 ありがとうございます。私のほうは御質問になるのですが、今、井上委員からも同じような御質問があったのですけれども、実際には小学生等の接種率が低いということで、まだまだ若い方の感染というのがあるのだと思うのですが、実際に喫緊でこの助成金の申請、受理はどのぐらいあるのかということ、分かる範囲で教えていただければと思います。質問です。以上です。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 それでは、事務局からお願いいたします。

○古瀬雇用環境・均等局職業生活両立課長 井上委員、そして布山委員から御質問いただきましてありがとうございます。御意見、御要望もありがとうございます。御質問の点ですけれども、今の申請状況としてはちょうど5月末が休暇対象、1月から3月について締切りというようになっているものですから、今、申請が正に急増してきているというような状況です。

その締切りで申請が増えているという点もあると思えますし、また一方でこの助成金について、小学校や園の現場を通じた周知をこれまでも2月と4月に、新入生が入られたという段階でも行ってまいりました。そういったことで、その周知が少し行き渡ってきているのかというような感じも持っております。

と言いますのは、労働局でお問合せを頂いた際に、御相談者の方から小学校からお知ら

せいただいたのだけれどもというような御質問も頂いたりというようなことも聞いておりますので、そのような感触を持っております。

それから現在の申請件数ですけれども、最新の5月20日時点の数字になりますが、約9万2,600件の申請を頂いているところです。以上です。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 よろしいでしょうか。他に御発言ございますか。御発言がないようですので、それでは事務局からお願いいたします。

○古瀬雇用環境・均等局職業生活両立課長 本日は御議論いただきまして、また貴重な御意見を賜りましてありがとうございます。御議論いただきました内容については、この後、本日プレスリリースを発出させていただければと考えております。また、関連の省令案の内容については、来月6月の分科会で御審議いただければと考えております。よろしくお願いいたします。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 最後に事務局から何かございますか。

○源河雇用環境・均等局総務課長 事務局です。本日は御議論いただきまして、どうもありがとうございます。次回の分科会の開催については、追って御連絡いたします。また本日の議事録については、追って御確認をお願いすることとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

○奥宮雇用環境・均等分科会長 それでは、本日の分科会はこれで終了いたします。皆様、お忙しい中お集まりいただき、どうもありがとうございました。